

2月の剣岳・馬場島「クロカンスキーハイク」 冬山情報 9号 2 / 8

北陸の天気予報は、断続的に「雪マーク」が続いており、まだまだ春は遠いようです。
 「ナイス」のドックへ入っていた「デジタルカメラ」が修理完了しましたので、この連休の初日・・・実は、週末の好天気はこの日の午前中しかなかったのです。・・・2 / 8に馬場島へ行ってきました。
 2月の剣岳は、新雪、湿雪、圧雪と条件が揃っていますので、雪崩の危険度は高く、さすがに登る人はいないのでしょうか。富山県警山岳警備隊の雪上車も雪がかぶったまま出勤なしです。
 今回は、雪上車の跡をクロスカントリースキーで、颯爽???と走ろうと思ったのですが、ところどころ、新雪とクラスとの雪面があり、走るところか、ゆっくり歩くのが精一杯でした。
 おまけに、発電所前に、毎年のように「でぶり」があり、あまり無理しないでユーターンしました。
 天候は今一だったのですが、一ヶ月ぶりに見た「剣岳」はやはり「剣岳」でした。
 充分満足できた、1日だったと思います。

馬場島への途中、上市にて、日の出を見ることができた。



立春も過ぎて、「剣岳」からの日の出の方向も違って来たようだ。



伊折の橋にて、剣岳を望む。今日の天気は、やや薄曇。



伊折の部落で、いつものように「剣岳」を眺める。



積雪状況は、ご覧の通りです。例年よりは、少ないようです。



すっぱり雪をかぶった「雪上車」まだ、休業中のようです。



雪上車の跡がないので諦めていたが、なんとスキーの跡が・・・



まず最初の展望のポイントへ到着。歩くコースならではの眺めだ。



車では感じる事のない、素直な、新鮮な感動が得られる。



常に化する「剣岳」の展望がとても嬉しい。

いよいよ、剣岳が近く感じられるようになってきた。

剣岳の頂上の全容が見えるようになってきた。



「剣青少年研修センター」に到着した。歩くと結構かかる。



「伊折」から、ここまで2 Km。ここから「馬場島」まで6 Kmです。



このゲートで初めて「剣岳」の展望が完璧になります。



この展望地から、ようやく「剣岳」北方稜線がしっかり見えてきます。



ここでは、視界をさえぎるものは何もありません。正面の手前は「中山」



2月の日差しを浴びる「剣岳」の本峰、手前の山は、「中山」です。



このまま、楽勝かと思ったら、スキー跡はここまで・・・残念でした。



この後は、ずっと新雪の世界。クラスト状態の雪もあり、大変です。



ますます、近くなった「小窓尾根」マッチ箱のピークが見えてうれしい。



昔は、ちょっと雪崩のあった危険箇所、今はもう安全です。



アップダウンもほとんどなく、景観は最高、クロカンスキーは快適です。



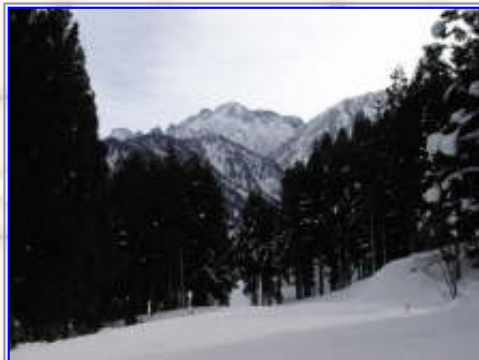
しっかり安全なこの林間コースは、クロカンスキーの初心者でも大丈夫。



少し、曇ってきたので、写真もやや暗くなってきました。



いよいよ、「馬場島」まで3 Km手前の標識です。



発電所手前の「橋」から、今年の春の目標である「大猫山」を望む。



「橋」から、大日岳山系の山々、今年の春は是非挑戦したい山だ。



ご覧のように、例年通りの「でぶり」、雪上車も当分はここまでです。



少し明るくなったが、今日はここで引き返すことにした。



自分の歩いた跡を撮影・・・新雪といってもやはり、スキーは快適です。



途中にある、「お地藏さん」、剣岳を見守る位置にある。



最後に別れを惜しむように、わずかに日差しが回復してきた。



行きは、光がささなかった山々も光がさし始めている。



剣岳の写真は、やはり光がさす午後の方がいいようだ。



最後に、名残惜しく、「伊折」の橋横から撮影。

